

国連グローバル・コンパクト 2004 年度活動実績

アマタ株式会社

1.社内に対する啓蒙活動

2004 年度は、社内に対する啓蒙に注力しました。具体的な取組みは、以下のとおりです。

- 1) 採用活動、社内報、入社時研修、人事制度説明会において、GC について言及し、社員への周知を図るとともに意識を啓蒙しました。
- 2) リーダーズサミットや、ジャパンネットワークのワーキンググループに積極的に参加し、グローバルな動向を常に意識することで、自社の基準をより高めるべく努めました。

2.GC 10 原則に即した活動

具体的には、以下の取組みを行いました。

1) 『人権』に関して

- ・社員の多様な働き方を想定して、定年後の再雇用制度と契約社員制度を新たに制定し、4 月より運用を始めました。
- ・外国籍の方を雇用する際の手続きについてまとめ、国籍が採用時の障壁とならぬよう、社内の制度を整えました。
- ・全事業所において、禁煙または分煙を徹底し、社員の健康増進に努めています。
- ・健康診断のガイドラインを策定し、社員がもれなく、必要なタイミングで予防医療が受けられるように仕組みを整えました。

2) 『労働基準』に関して

- ・新たな事業所の設置に合わせて、労働者代表を社員の投票によって選定し直しました。
- ・社員の声を拾い上げ、内容を吟味したうえで、制度改正に取り込んでいます。2004 年度については、単身赴任の社員に対し、少なくとも毎月 1 回は帰宅できるよう手当を新設しました。

3) 『環境』に関して

- ・「当社は、『持続可能社会の実現』をミッションに掲げ、その達成に向けて日々邁進しています。
- ・各企業の廃棄物管理担当者を対象としたセミナーを開催し、処理業者選定や法律に沿った手続きが適正に行えるよう教育・指導を行い、企業レベルまた社会レベルで環境負荷低減に貢献しました。
- ・FSC 森林認証の啓蒙と審査を行い、当社のコーディネートにより、2004 年度は新たに 5,729ha の森林が認証を受けました。
- ・産業廃棄物のリサイクルオペレーションを行い、2004 年度も日本のみならず、韓国・台湾においても廃棄物の再資源化に貢献しました。

- 当社の生産部門である茨城循環資源製造所（1999年、ISO14001認証取得済み）において、EMSを継続的に運用、改善しています。
- TV会議システムや電話会議システムを各拠点に設置し、これらを積極的に活用することで、出張や移動による環境負荷を抑制しています。
- 営業車両を調達する場合は、CO2排出量や燃費といった項目からなる社内ガイドラインに従い、できるだけ環境負荷の低いものを選んでいきます。

4) 『腐敗防止』に関して

- 「コンプライアンス規程」「コンプライアンス担当役員規程」を制定し、これに基づいて選任された担当役員が、国内全拠点でコンプライアンス監査を実施しました。また、社内手続きや制度の認識について、地域格差が生じていないかを確認し、必要に応じて是正を図りました。